十二日 夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月金六十錢
□郵稅　金十五錢
□一部　金三錢
□廣告料一行金六十錢
□[illegible]欄　金九十錢
□場所指定一行金一圓增
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
磐城國平市田町十六番地
發行所　磐城毎日新聞社
發行兼編輯印刷人　森合英

枯れた尾花も幽靈に見える信じ合はなきや世は闇よ　（俚謠）

閼伽井嵐

思ひつくまゝに

（四倉）三田村幸作

世の中がやかましくなつて來て自己の個人意志のまゝに行動する事は許されなくなつた。吾々の行動は一々國家の制限を加へられて來て居る。例へば貯蓄等でも個人の意志によつて勝手に行はれて居たが、今日に於ては種々なる手段を用ひて強制的に貯蓄せねばならぬ御時勢である。何故吾々は今日かくの如く貯蓄しなければならぬであらうか、この何故にといふ問に答へられ、それを積極的に行ふ人が果してどの位あるであらうか　この何故にといふ問に國民各自が充分答へ得るまでに達して居るならば、所得は以前に增してゐても增してゐなくても、又物價水準が騰貴してゐても、結局生活水準を低下させ、最低の生活に甘じて、所得の一部を貯蓄稅等にふりむけ、國費の增大して來た今日全体的統制に積極的に參加するであらう

この様な事はいくらもある。〃職域奉分〃〃臣道實踐〃等の標語も國民全般に對しては適切なるそれであらうが、これらの標語を個々の職業又異なる環境の下に生活する吾々は如何に解すべきであらうか。私は生産的と云へない職業に從事して居る者であるが自分の職域奉公とは如何にすべきであるかと迷つて居る。私と同じ考を抱いて居る人が居ないであらうか、反省して見るに、職業である以上生産的非生産的の區別はなく、全てが生産的であると思ふ。ところで指導者はこの吾々の疑問を納得できるやうによきゝかして貰ひたい。この疑問が明らかになつたら、

明治天皇の御製に

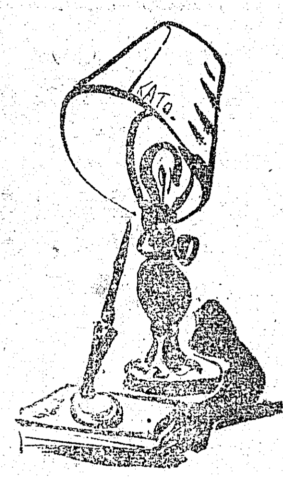
いくさの庭に立つも立たぬも……

と仰せられて居る通り、この信念は吾が國民性なるが故に強制的に又法令を以て強ひなくとも、多事多難なる秋進んで國策に參劃し、高度國防國家建設に一臂の勞を惜しまない筈である。

踏破六百里

……楢田彦之進氏による……

岩崎敏夫



（九）

休養豫定地なる岡山に向つて出發して見たが、吉岩號は疲勞した形なので心配しながら行く。午後の三時頃、停車場附近についた頃には、馬は到頭動かなくなつた。馬丁に見てゐるやうに言ひつけて置いて聯隊區司令部に行き、報告やら依頼やらをして帰つて見れば馬丁は馬の傍でぼろ〳〵涙を流してゐるのである。打つてもたゝいても動かぬといふ。私がやつて見ても同じであつた。通りがかりの人々は、可愛想なと言葉をかける人もあるかと思へば、死んでは仕末に困るだらうから今の中に賣つたがよからうとつぶやく勝手なのもゐる。いよ〳〵こゝが終りかと心中淋しく思ひながら、漸く宿舍まで引いて行つたら吉岩は遂に此處で倒れあとは飲まず食はず太息してうなるばかり、聯隊區からは獸醫をよこして見てくれたが重態らしい。馬丁と二人眠らず終夜看護したが翌朝になつても起きない。この岡山は第四休養地になつてゐるからあわてるにも及ぶまい今夜一晩看病したらよくならうかと神に念じつゝ、夕方になつて起して見たら漸く起きた二十時間ばかりねてゐたわけである。手入れをして、少し引いたら僅かに歩く。川につれて行つて夜なかまで足を冷してやつた。物も少し食ひ出したのでやゝ安堵の胸をなでおろしてその晩は休み、翌朝見たら矢張り起きてゐる。食物も餘程とるやうになり、歩かせれば歩くので安心して晝頃になつて岡山を出發することにきめた。所が人々の言ふに、それはいけない。前途はまだ百二十里もあるのだから、二三日休んだとて恥でも何でもない。樂々と彼地に到着するに越したことはないではないか。さう言つて忠告してくれる。この深切は眞にうれしかつた。併し思ひ立つたからには一足でも進まねば自分の氣がすまぬ。鴨越の故事が心に浮ぶ自分に力あらば馬を負うても行きたい位。いたはりながら引き出した。

萬葉のせゝらぎ

谷間溪水生

（一）

古來吾が國には〃坊主憎けりや袈裟まで憎い〃とか〃火を見たら火事と思へ〃等と面白く鋭く世人の感情を訴へた俚諺があるが、此れ等は夏にも適用出來ると思ふ。夏と云へば直ちにあの蒸さ苦しい盛夏を聯想して何となく着衣に汗ばむ様な氣がするだらう。それ故私は夏に因んだ萬葉の歌を紹介するに當つて〃夏の萬葉〃なる語を用ひず〃萬葉のせゝらぎ〃とでも題して私の述懐を述べる事に度い。今や洪水の名殘りも風鈴の音に何時しか消え去り何うやら本格的な暑さに入つたらしい。

四方の山々は暑い大氣の中にぼうつと遠く霞んで眺められる。街のイラカの波迄が焼けつく様にちら〳〵暑苦しく目に映じて來る。唯水田の青草ばかりが我々の眺望を喜ばしめる暑い筈だ八月ももはや中旬に入つたのだ、一休夏の世界は我等にとつて魂の逍遙地なのかそれとも樂天地なのか或は休息地なのだらうか。私は此の解決を萬葉集の中の數々の歌の中から見出して見たいと思ふ。

抑々萬葉集の我々現代の文明社會にあつてもその價値を重要視され珍重され人口に膾炙されてゐる所以は私の喋々する余地もないだらうが、概述すれば萬葉集なるものを通じて當時の人々の原始的な風情性格の素朴さ抒情の單純さが歌といふ紹介物を通じて、有体に何等の喜怒哀樂の氣持を我々に切實に訴へてゐるといふ點に存すると考へられよう。

一口にして云へば萬葉の美は豪壯美單純美素朴美原始的美と云ひ得るだらう、さて次に私の最近讀んだ萬葉歌集の中から夏に因んだ歌を紹介しよう。

〃六月の地さへ割けて照る日にも吾が袖乾めや君に逢はずして〃

〃夏の夜の繁みに咲ける姫百合の知らえぬ戀に苦しきものを〃

〃ほとゝぎす鳴く峯の上の卯の花の憂きことあれや君が來まさぬ〃

〃見渡せば向ひの野邊の撫子の散らまく惜しくも雨な降りそね〃

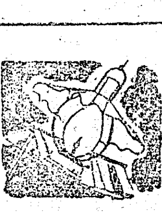
〃蜩は時と鳴けども物戀ふる手弱女われは時わかず泣く〃

〃足引きの山川の瀬のなるなべに弓月岳に雲立ち渡る見ゆ〃

川柳

小名濱　加藤香風

青空の方へラムネの瓶を向け
ミシン習ひ初めたシャツを着せられる
潔癖な男が汽車を掃いてゐる
故障車を案外見捨てないお客
賣藥で治れば治す主婦の肚
世帯する眼を持つて來た百貨店



異人劍法 【53】

（[illegible]上演上映）

車谷弘
下山望東畫

渦潮（四）

小梅の家の前は、どぶ川が流れてゐた。

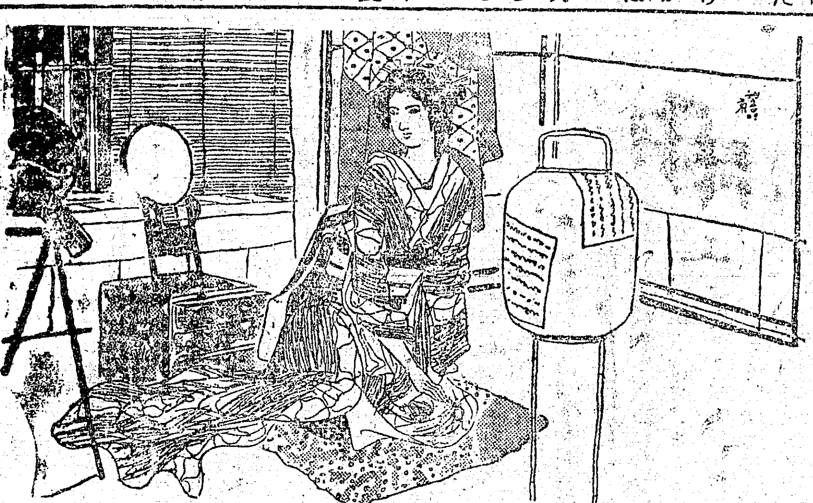
このどぶ川の兩側に小料理屋や藝者屋や地獄宿などが、ごた〳〵とならんでゐるのだ。

鉛色の水の面に、僅に射してゐた夕明りが薄れて、色街らしい行燈の灯が、あちらこちらににぢみ出した。

川端の柳をかすめる蝙蝠の影も、もう闇に消えて見えない。

夜になつたのだ。

（今夜はあの巳之さんが、きつと昨日の約束通りにやつてくるに違ひない）



小梅はたのしさうにいつもより早くお化粧をこらしたのだが、夜になると生娘のやうにそわそわと落着をなくしてゐた。

（いゝ年をして……）

と、そんな自分を叱つてみたり。

（あんなに、かたい約束をしたんだから……くる、いや、きつとくる、あゝ、早く來てくれゝばいゝが……）

小梅は、行燈の傍に横坐りして、鏡臺に向ひながら、團扇の手をやすめて、鏡の中の自分の顔を、ぢつと見つめた。

つやゝかな黒髪に、そつとさわつて見たりして、今宵は我ながら美しいと、思はず知らず見とれると、鏡の顔もわらひ出した。

小梅は所在なさゝうに、巳之助の迎ひを待ちわびてゐるのである

いつまでも、待ちくたびれてぢれつたく、やるせなく、小梅は、格子をすかして見た。

千日千夜さ逢はずとも
先さへ心が變らなきやたんで妾が變らうぞ
日に想びがますわいな

そんな下田ぶしの囃子が小梅の心の火を、かき立てるやうに川風に送られて、聞えてくる。

黒船に怯えた街も、再び、海港の繁昌をとり戻して、この頃は、夜毎、絃歌のさんざめきが絶えないのであつた。

（あゝ、巳之さんにあひたい……）

沈んだ夜色が氣になつて、ちり〳〵して、ふと小梅がつぶやいた時、表の格子が、がくつと開いた。

『今晩は……』

濱田屋の喜助の聲だ

小梅はすらりと立ち上つて、襟もとをあわせながら、裾をひきずつて、いそ〳〵と、上り框へ飛び出して來た

喜助は、あわてゝお辭儀をして、

『こりやア、姐さんおめづらしい。たいそうおめかしで……』

小梅は、につこり笑ひながら、

『よしておくれ』

と嬉しさうに、

『喜助さん、お前さん遲かつたねえ』

『おや、それぢやアもう姐さんは、ちやんとお座敷を御存知で…』

『あいさ、待ち兼ねてゐたのさお客さんはおひとりだらうねえ』

『お手筋だ、姐さんにあつちやアかなはねえちやアんと、しめし合せてあつたんですね、そんなら姐さん、さア早く、御一緒に參りませう』

『あい』

いそ〳〵として、小梅は素足に堂島下駄をつツかけた。

本社電話變更
電612番
磐城毎日新聞社

土木建築
鐵道
船舶仲仕
三崎組
太田勝康
事務所　小名濱町日東前　電話五〇番

おでん
たつた揚
やきとり
一平　平市一丁目

トンカツ
とんかつ專門の店
かの家
營業時間　午前十一時　午後十時半
一日、十七日ハ肉ナシ日ニ付キ休マセテ頂キマス
平市仲田町　電話四六五番

ミクローゼ
[illegible]する際に死滅し易い酵母と異り・ミクローゼの主成分である日本固有のビルツは・生存力が極めて強く・服用後・胃腸内でどんどん增殖し・强力な消化酵素を産生する特徴を有して居ります。——故に・効果は持續的・且つ强力であります。何よりの證據は・食慾が增し・快い便通が得られることです。
郵券十錢で・五日分六十錢の試服藥を急送す
星チエーンストア支部
全國各地藥店に有り
東京・五反田　星製藥株式會社

お醬油は 合
味噌、醬油
たひら正宗
鰹節、食料品
醸造　山崎合名會社
平市　電話　營業部一〇番　本店二七番

立食
天婦羅
始めました
おでん
もつ燒
一平　小名濱町

ハマーチ
三宅駿一博士發明（鱈肝油）
專賣特許
五十錠入　一、一〇
百錠入　二、〇〇
德用罐　五、〇〇
特約店　平市五丁目　山野邊藥局

高久病院
内科
小兒科
外科
性病科
看護婦及び女中募集
院長全快診療に從事
院長　高久忠
副院長　赤羽清
藥局長　佐竹菊雄
平市田町　電五一三

新刊書籍
月刊雜誌
特價圖書販賣店
三英堂　村山書店
平市驛前中央通り

江尻醫院
皮膚科
泌尿器科
性病科
平市田町　電六九一
江尻伊三郎

建築木材ノ御用命ハ
木材、天上板
ベニヤ板
建具材
木羽、建築材
便利瓦一式
織田材木商店
製材工場（大作場）
平市　電四九〇番
磐越東線赤井驛前　電二三五

砂利小賣　販賣
◎長橋町三十番地へ貯藏所を設けました。容れ物御持參下されば小量でも小賣り致します、
◎五合以上の御注文は特に運搬も致します
神谷砂利店
平市白銀町　電話六六五番

鳩尾加壓器（みぞおちかあつき）
鳩尾を落すこと
一、胃腸は丈夫に動脈硬化が柔く鳩尾を落すことは千古を貫く保健の秘訣です
一、使つた其日からこれは効くぞと判るのが特徴です
製造頒布元…東京林總本部
頒布所　平市古鍛冶町一〇　阿康藥局　電話四四番

磐城のおみやげ品
みやま羊羹
梨羊羹
小川郷驛前　平屋賣店

外科（内臓、整形）
肛門科、性病科
レントゲン科
上田外科
院長　上田耕作
平市南町　電一二九

ゲーム係見習ノ方數名募集
務先　東京（眞面目な務めです）
高給デ優遇致シマス
【委細面談】…御希望の方は左記へ…
市内仲田町
井坂病院前
平撞球場内

磐城セメント
小賣指定
大谷石を賣始めました
野内商會
平市南町　電話一一二番

内科
外科
小兒科
花柳病科
曾田醫院
小名濱町上横町

鑛泉と割烹
鐵道指定旅館
小瀧
電話（小名濱）一〇三番

産科、婦人科
醫學博士　五十嵐雄二
平市新川町　電三六九
病室增築、手術室完備

日本油脂株式會社
特約店
ペイント類、ボイール油
ドライヤー、防錆塗料
船底塗料、屋根塗料
黒板塗料
一手販賣
（イ）磐城水産工業株式會社
小名濱町築港内　電一四四

耳鼻科
咽喉科
增田醫院
醫學博士　增田[illegible]之
平市紺屋町　電六〇一
▽入院隨意▽

新鰹節賣出し
魚問屋へ
平市四丁一　電二二三
鰹節製造販賣
日本生命平代理店
志賀盛榮商店

度量衡
モノサシ・マス・ハカリ
計量器
體温計・寒暖計
販賣所
資生堂
小名濱町　電一四七番

◇和文、歐文、タイプライター◇最新事務用品類◇文房具一式◇製圖並に測量用品◇謄寫板並に附屬品
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森事務用器商會
平市田町銀座街　電二九六番
仙臺振替五一〇番

債券、公債、両替、金融
多田井質店
平市大工町　電話五九一番

平年作確實か
稻作グット見直す

本年の稻作は分蘖期の降雨低温に加へ過般の颱風で殆んど冠水した爲一時悲觀を傳へられてゐたが其の後氣温が上昇した爲發育順調に進み多少軟弱な嫌あるが稻熱病も休眠胞子となり、石城郡及平市地域は平年作確實と見られ場所に依つて農作を傳へられるなど農村は幾分愁を開き今後の成育に萬全を期してゐる

發育順調に進む
郡農會現在作況發表

分蘖期の危險や冠水の難も突破し發育は案外良かつた、稻熱病は郡内で三百八十一町歩の被害を見たがこの内皆無作七町三反歩、七割以上の被害百六十一町歩を數へたが病菌の蔓延も終熄し目下休眠胞子となり蕃殖彌蔓の心配が解消した然し此處數日來の低温で山沿ひ地方にポッポツ冷稻熱病や首稻熱など發生の憂ひあるから油斷無くボルドー液撒布驅除を行ふべきである、目下の處では平年作確實の處が大部分を占めてゐるから決して悲觀することはない

聖恩に感泣
今日水害御下賜金傳達

過般の颱風水害で災害の最も甚しかつた家族に對し畏くも

天皇、皇后兩陛下に於かせられては御救恤の思召を以つて御下賜金の御沙汰を給はつたので平市では今十二日午後二時から市長室に於て傳達式擧行、伊藤助役から左の四名に傳達された

◎殉職警防團員家族

平市中平窪字横幕　吉田卯三郎

◎家屋流失

平市大字下平窪字鶯　佐久間淸治

◎家屋全潰

平市大字下平窪字寺内　船尾泰孝

◎半潰家屋

平市搔槌小路　笹生仁一

御下賜金を拜受した四家族は、聖恩の洪大なるに只々恐懼感激し、水害後の復興振作に萬全を期すべく深く心に刻んで家路を急いだ

『咀嚼と映画の夕』
各地とも豫想外の盛況

既報、石城口腔保健實踐會の「咀嚼と映畫の夕」は七日の高久國民學校を皮切りに開始、縣齒科醫師會教育部長加藤親義氏も見え、小名濱、豊間、江名地とも一千名以上の聽衆及び觀衆があり、多大の成果を收めた、なほ第二班は十二日湯本町、十三日平市、十四日草野村、十五日四倉で開催する事になつてゐる

衛生區長
二區改選

市衞生區長改選の結果次の如く決定

△廿七區長、櫻村三男吉、同世話係大谷藤作、仝大輪喜代三△卅三區長、吉田佐一、同世話係松崎堅伍、同松崎善之助

特高課長
十五日初巡視

新任の縣特高課長山本爲雄氏は初巡視のため植田警察署を經十五日午後來平、打合せの上同日一泊し十六日四倉署に向ふ

四倉署異動

四倉警察署では昨十一日管内駐在所の一部異動を行なつた

△大久、幕田巡査は大浦△久の濱、北町森巡査は大久、同南町赤間巡査は北、町兼務

國策的統合めぐる
平鑛山機械工場
結局四本建てに認めるか

平鐵工組合から分離し鑛山機械工組へ改組される市内の大工場は、既報の如く縣當局の二工場整理統合案が遂に纏らず各工場代表者が出縣商工課長に對し當分四工場統合を懇請、縣當局も工場側の要望を諒解して商工省へ具申して指示を待つことになつた、業者側の四工場統合案は次の如く商工省がこれを認めると市内の大工場も何等波瀾を見ず圓滿に進むが、國策的見地から飽くまで二工場に統合を望む場合田邊、吉健兩工場側も親工場として存置を主張し容易に合流を肯ずるの氣配なく何れの工場を親工場とするか相當難色を呈してゐる

◇四本建【今井製作所】今井辰猪　武藏工場遠山稻吉、關口鐵工關口義久、鈴木鐵工鈴木甚藏【吉健鐵工場】吉田常太郎、三瓶機械三瓶嘉久彌、石川鐵工石川義助【田邊鐵工株式會社】田邊忠造【吉健鐵工場】吉野健吉

尙吉田啓助、佐川朝次兩氏の工場は東京合同機械工業へ合流（買收？）することになつてゐるが未だ商工省の認可に接しない爲統合案には加へず留保することになつた

◦◦◦謝禮金寄附　四倉町本町小田某氏は去る九日十圓六十錢入の蟇口一個拾得し謝禮金壹圓を町銃後奉公會に寄附した落主は本町柏家の藝妓ながと姐さんであつた

翼賛商道語る
─商報隊・文協座談會（4）
新生活運動は
主婦の文化運動が大切

文協M、愛町精神誠吹のお話しが出たやうですが、貯金や金融などに平庶民金庫を利用してほしい

商報Y、事變以來貯金は非常な勢ひで增加したやうです、然し從來の貯金增加はインフレ景氣で增加を來たしたもので各々が實際的に生活費を切り詰めて貯蓄する方針を樹てねば今後貯金の增加が望めない貯蓄報國のため生活費切下げ運動が大切でせう

文協M、新生活運動の實踐が急務ですね

商報Y、實踐が大切だそのためには耽振生活を行ふことです、豫算生活をやるとムダな點が表面に出る斯うして貯金することです

商報O、文協會が新しい生活運動を取上げ大いに宣傳して下さい

文協T、長期戰に亘ると婦人の文化運動が最も大切です、私は常に御婦人方の啓蒙を說いてゐるが、表に出ては主義主張を堅持する硬骨な男も家庭にあつては大部分主婦の意見に追從する場合が多い、男性へ吹き込むより機會ある毎に御婦人方を色々な會合へ動員して文化運動を行ふべきだと思ふ、衣食住等凡ての消費經濟は女が主になつてゐませんか

文協N、過般友の會で行つた『樂しい家庭』生活展などどうです

文協M、私は見なかつたが、どうも高踏的だと云ふ非難を隨分聞かされた

文協T、生活を合理化しようとする運動で婦人の文化運動としては確かに當を得た催しだつた、だがMさんのお話しのやうに大衆の生活にピッタリ來ない嫌ひはあつた、住宅や生活費の標準、或ひは醱物利用にしても一般家庭には一寸そぐはないところが多い見受けられたのは事實です

文協N、中流家庭を標準にしたのでせうから致し方がないでせう

文協M、もう少し大衆に融け込むやうな仕事をして頂きたいと思ひます

文協T、最近お菓子屋さんやパン屋などの前に列を作つてゐるのを多く見受ける、需要と供給の數量が伴はないから致し方ないでせうが、何とかなりませんか

商報Y、あれは是非止めさせたいものです

商報M、列を作ることは購賣心をそゝる、通りかゝりに列を見て『もう賣るのだな……お土産に』と思はず列に入ることなどが多いと聞きます

文協N、警察側の注意を受けて切符制に更めたところもありますが、今度は切符を貰ふのに列を作る、或ひは近親知己などへ切符を廻して了ふ弊害も出る、個人的な小量の切符では意義を爲さぬため元へ逆戻りさせたのではないでせうか

商報M、サイダーの如きは事變前の三倍程製造して尙間に合はないと聞く、購賣心が增してゐるのです

文協W、こんなにお菓子が買へないなら家庭でお菓子を作れるやう、砂糖とか粉とか原料品を各家庭へ配給すると菓子不足も忽ち解消する

文協N、菓子の切符制を菓子組合が取上げるらしいが、結局洋菓子とか、生菓子など高級品を廢めて駄菓子を多く作つて全体に潤すのではないか

產報青年
鍊成講習
十七日小名濱で

產業報國會平支部濱方部產報青年隊鍊成講習會は來る十七日午後一時から小名濱第一國民學校講堂に開催することになつたが平支部から久和支部長、色川事務局長が臨席、隊員の余興などもある

◦◦◦北部青年　石城北部大浦、大野、四倉の一町二ケ村青年學校の方部動員は來る二十日四倉國民學校々庭で執行する

燃料に悩む
漁業統制懇談

般漁業家の悩みの種は燃料不足であり、これが打開策としては企業合同も已なしと腹を決め、現狀維持で行ける丈けはと油の入手に人知れぬ苦勞と努力を續けてきたが、縣當局では現下の逼迫せる世界情勢下にあつては現狀を宥さず石油消費規正強化は今日まさに對策を講ずる必要ありとし對策打合會を本縣小名濱、江名、四ツ倉に開催するが業者の怖れて居つた企業統合乃至半作業の實現化も世界情勢と照し合せて已なき運命に見舞れてきた、これが對策打合會は縣經濟部長主催で昨十一日四倉漁業組合を皮切りに今十二日小名濱漁業組合、明十三日江名漁組と順次開催善處することになつた

牧野改良
今日講習會

牧野改良事務指導講習會は今十二日午後一時から平團体事務所で開き縣耕地課牧野係から左の組合へ放牧地の改良を指導した

田人荷路夫牧野採草組合、黑田放牧組合、大平共同牧野組合、入遠野共同牧野組合、川前志田名共同放牧組合

鯣搾粕
等級價格決定

八月十日附縣經濟部長よりの通達に依ると農林省資材部令に依り鯣搾粕檢査を一等級より等外迄四階級とし價格は左の如く改正され各漁業組合に通告された（本縣）但し十貫目迄、一等級、十圓七十七錢、二等級、十圓六十七錢、三等級、十圓四十七錢、等外、九圓八十七錢

辨當持參で
警防團講習
今日から三日間開く

石城郡下平、四倉、植田の三警察管内警防團上級幹部講習會は今十二日から三日間平署武道場で開講、各警防團から團長、副團長、庶務部長等と平警防團は特に班長以上受講

定刻午前九時國民儀禮についで令旨奉讀、勅諭奉讀、久和平署長の挨拶に次いで鈴木警察部長の訓示があり何れも手辨當で第一日の講習に入つた

縣から佐藤警防課長と谷津警部補が講師として臨席した

操繰網
秋職協議

今十二日午後一時小名濱海洋青年學校に於て小名濱、江名兩揚繰漁船、船頭會を開催し秋職乘込みを前にして種々協議申合せを行ふ

翼賛体制整備
青壯年指導方針決る

大政翼賛會縣支部常務委員會は昨十一日午後一時から縣廳に開會增產計劃並に水害對策問題協議、第二回縣協力會議は九月十六、七兩日開くことに決定、青壯年隊の指方針として隊員訓練、實踐體驗、團体行動、訓練、自治修練等に重點を置き次の如く決定、愈々青壯年隊の全面的活動を促すことになつた

1、皇道政治確立へ挺身

（一）國體本義の徹底

イ、歴代詔勅奉戴

ロ、國史、國體の本義臣民の道戰時訓の研究に依る皇國大道闡明

ハ、敬神崇祖、祭祀の意義確認、神宮參拜（遙拜）宮城遙拜、神社參拜

ニ、國旗揭揚、祈念

（二）翼賛政治本義の徹底

イ、職分奉公による大政翼賛生活の國風宣揚

ロ、正しき政治教育、市町村自治の淨化刷新

ハ、選擧肅正

ニ、『福島縣大政翼賛運動實施要項』『實践方法』實現への協力

（三）大東亞共榮圈の認識徹底

イ、國際情勢の研究、東亞民族政策の研究

ロ、八紘爲宇の精神理解

ハ、指導的人物の養成

（四）高度國防國家體制の實現

イ、軍備、經濟力の充實への協力

ロ、科學的研究への邁進

ハ、健康增進と人口增殖

ニ、精神力の鍛錬

2、增產へ積極的活動

（一）產業報國精神の昂揚

イ、勤勞の德行的意義の闡明

ロ、勤勞歡喜の精神徹底

ハ、講習、講話、座談會の開催

（二）生產力の增加

イ、勞力の調整

勤勞の修練と能率鍛錬、遲刻缺勤防止、勤勞奉仕、共同作業共同經營、機械器具共同利用、勞力移動班への參加農閑期利用

ロ、生產の計畫化

作付制限令の徹底、耕種改善規準の普及徹底、軍需農產物の增產供出、二毛作の獎勵、經營簿の記帳

ハ、生產資材の活用

施肥合理化、自給肥料增產、木灰蒐集、廚芥利用運動、不合格品製作防止

ニ、技術の練磨

科學的研究、發明考案、視察見學、講習共進會、作品發表會研究發表會、技術の公開、作業日誌記帳

ホ、經營の適正化

市町村現勢調査、農家適正規模調査開拓民の送出

へ、耕地の擴張改良

耕地整理促進、土地交換分合、空荒廢地宅地利用

3、翼賛協同體制促進

（一）翼賛組織の完成

イ、部落會、町内會、市町村、官公衙、會社工場諸組合の家族生活化

ロ、福島縣市町村下部組織整備指導要領實現への協力

ハ、各種常會の整備と機能發揮への協力

ニ、各種團體相互の聯絡統合一元化

國家目的實現の配給機構（商業組合）整備擴充

ホ、產組、商組調整融合實現への協力

（二）家族的協同体の精神訓練

イ、報德推讓精神の高揚利權爭奪風の解消

ロ、修身齊家

ハ、皇道歸一と團體個人主義の排除

ニ、新農民道の確立

ホ、公益商業の實踐

へ、勞一體職場一家、勤勞報國生活の徹底

4、民情上通の機能發揮並に常會への積極的協力

（一）常會の整備强化への協力

イ、各種常會網の整備强化

市町村常會、部落會町内會常會、隣保班隣組常會等の整備强化、其他各種常會の强化

ロ、常會の使命發揚（一家二人以上）出席勸獎、時間勵行

（二）常會運營への協力

イ、申合事項の率先實行

（三）國策遂行運動

イ、時局認識運動の實施

ロ、食糧增產運動の實施

ハ、消費節約運動の實施

ニ、物資愛護運動の實施

ホ、公債化誌運動の實施

へ、時局對策協力運動の實施

ト、國民厚生運動の實施

チ、生活刷新運動の實施

石双菓子工組合

石城北部四倉、大浦、大野、草野の一町三ケ村並に双葉郡一圓を加へた石双菓子工業組合創立總會は十日午後一時より、富岡町國民學校に開催組合員は八十六名で役員左の如く決定

△理事長、長谷川好男（四倉）△專務理事合津武一（富岡）理事馬目捨次郎（四倉）同片寄增太郎（久之濱）同菅野軍次（木戸）同二階堂定助（浪江）同石川慶次（同）△監事水口忠助（四倉）同佐藤徹（富岡）同吉田茂（浪江）△統制委員藤野昌藏（四倉）同沼田唯一郞（廣野）同井出正巳（川内）同高野隆次（浪江）

江名助役
銓衡に悩む

江名町助役江尻藤次郎氏は八月一日で任期滿了となるので太町長はこれよりさき後任助役物色したが第一に手を染めたのが小泉小名濱庶務課長、第二に吉田正男氏であつたが小泉氏は絕對に見込みなく第二の吉田氏は町長見留の意味で根氣良く未だに匙を投げず折衝してるが果してどうなるか、どうしても不起の場合は振簾江名校長及び遠藤勝馬町議の内より起用する段取りらしく一助役を起用するにも普々ならぬ努力を盡してゐる

荒廢地へ
蕎麥奬勵

石城郡農會では縣の指導に基き水害克服のため、砂利、作物流失等の荒廢田畑へ蕎麥を播種し代用食を確保するやう通牒發した

石城郡内の水害に依る荒廢田畑は約五十町歩と見られ、播種後三十日目位で收穫を見られるから白菜や大根等秋蒔野菜までの間作として理想的なものとされてゐる

勞働者拔く
職業違反で檢擧

神奈川縣川崎市土木請負員業鈴木吉三郎（三五）は一月程前から平地方へもぐり込み内郷村を中心に炭礦地帶から勞動者十五名拔出したこと發覺職業紹介法違反で平署に檢擧され取調べを受けてゐる

時局忘れた
賭博犯二件檢る

平市田町喫茶店リラ長谷川直江（三八）外二名は同町料理店福榮亭事佐藤サダ（六二）方で同人も交り賭博開張したこと發覺平署の取調べを受けてゐる

同人等は六月廿五日頃から七月十五日まで數回に亘つて花札賭博を行つてゐたものである

小名濱町竹町上野台勝藏（四一）外二名は五月初旬以來今月上旬にかけ十數回に亘つて花札賭博開張したこと發覺同町吉田源重方で檢擧された

大敷網
賃貸料引上問題

小名濱大敷網漁業の賃貸料は九、一八停止令に抵觸すると云ふので折角の計畫も中止の已なきに至り但し〃特別の事情〃云々が問題となり縣當局は本省に對し指示を仰ぐべく目下照會中にあるが、從來は兩組合の收入は二萬圓位で五ケ年間では約十萬圓前後であつたから十五萬圓の過剩契約は不可能と見られてゐる

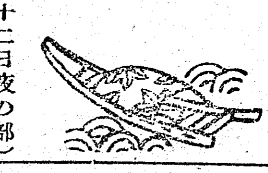
◦◦◦慰問袋　平市二丁目一六横幕淑子さんは今十二日市役所へ慰問袋一個寄託した

（十二日）

【野菜】小賣値百匁

キウリ	九、錢
南瓜	八、錢
ナス	八、錢
ズイキ	〃錢
人參	七、錢
マクワウリ	八、錢

今晩のラジオ



（十二日夜の部）

▲六・〇〇　南太平洋の國々「英領マレー」帝塚山コドモ會△音のなぞ〈（二）〉△シンブン

▲六・三〇「高原地の農業」久保佐土美

▲七・二〇　政府の時間「野菜類の配給統制」辻農林省食品局長

▲七・三〇　われらのうた（一）傷痍の軍人（二）子守唄（三）若き妻（四）曠野の鬪爭　杉江報國合唱團

▲七・四〇（AK）長唄「養老」吉住小四郎、稀音家文治、外「日K」食糧增產講座

▲八・〇〇　軍事報道「炎熱下の上陸戰」陸軍少佐澤畑養郎

▲八・一〇　講談「曾我の紋づくし」寶井馬琴

▲八・四五　朗讀「或る朝」（志賀直哉作）森雅之

▲九・〇〇「精鋭上海特別陸戰隊」（支那派遣錄音班第七報）

▲九・一〇　盆踊（大分）鶴崎盆踊（名古屋）郡上節（金澤）三谷音頭（仙台）會津磐梯山

今晩　北東の風曇り時々時雨模樣

明日　北東の風後南東の風に變り天氣次第に良くなるでせう

（十三日）

滿潮　前七・三〇　後七・五五

干潮　前一・四〇　後一・三〇

平市慶弔錄

【婚姻】平市字大工町十八番地菅野三郎（二九）さんと長野縣小縣郡中鹽田村大字舞田百六十六番地宮澤喜美子（二六）さん

【出生】△平市字一丁目三番地松本健次長女和子さん△平市字十五丁目三十番地佐藤勝男三女榮子さん

興亞の晴れ着　國民服

洋服は高島屋

平市二丁目通　電話三八六番

肉の御用命は

三二三屋

牛も豚も優良品が自慢

平・大國町　電323番

看護婦數名募集

醫學博士　高柳博明

高柳醫院

平驛前　電三三六

大塚の──

靴と運動具、樂器

自製靴各種

野球用具　庭球用具　競技用具　卓球用具　登山用具　体育用具

各種運動服裝　ハーモニカ　手風琴

團旗、優勝旗

各種豐富に揃つて居ます

御用は　大塚へ

平市田町銀座通　電話七十七番

御料理

一の井

平三田小路　電一六七

洋服裁縫

女子見習10名募集

通勤ヲ可トス　平　電三418

佐川洋服店

贈つても貰つても喜ばれる

セトモノ　ガラス器　瓶、箸類

等の御用命は

藤屋のセトモノ

驛前通り　藤屋セトモノ店　電話（呼）六一六番